

拠出金名: 赤十字国際委員会拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額				2,648,165千円	
国際機関等名	赤十字国際委員会 (英文名称・略称) International Committee of the Red Cross (ICRC)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	国際協力局緊急・人道支援課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千CHF)	レート	ODA率(%)
平成20年度 ^(注1)	2,648,165	19,000	5,062	1\$=113円、1CHF=99円	100
平成19年度 ^(注2)	1,635,854	10,000	5,062	1\$=116円、1CHF=94円	100
平成18年度	517,968	0	5,886	1\$=111円、1CHF=88円	100
当該拠出金の目的・用途等	事業費				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年のもの)				国際機関等の財政 (2008年度決算)(千CHF)	
	国名	金額 (千CHF)	拠出率 ^(注3) (%)	当該年度の収入	1,165,868
1位	米国	237,854	20.40%	当該年度の支出	1,102,889
2位	英国	139,061	11.93%	次年度への繰越	62,979
3位	EC	129,147	11.08%	会計検査機関名	
4位	スイス	102,500	8.79%	ERNST & YOUNG	
5位	スウェーデン	79,144	6.79%		
日本の拠出順位13位、拠出率 1.33%					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
ICRCは独立性、中立性の高い機関であり、それを遵守しているがゆえに、紛争地帯において敵対する両勢力からの信頼を得て活動を行うことができる。ICRCへの支援を通じて、我が国が直接支援を行うことができない場所へ支援を行うことは、人道支援大国として世界へアピールするための重要な要素の一つである。ICRCは独立性、中立性を維持する観点から、特定のドナー国からの意見を直接反映させることはないが、毎年開催される支援国会合や国際顧問グループの提言を通してドナー国との意思疎通をはかっている。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
より効率的な活動を実施するための機構改革や、本部の経費を据え置く等の努力を評価。					
邦人職員数 うち幹部以上 (2009年1月現在)	7人 うち0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		1,453人 0.5%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
①職員採用に際しては英・仏語が要件となるため困難な面もあるが、ICRCに随時申し入れを行っており、ICRCも採用後の仏語研修を設ける等の対応を行っているところ、引き続きICRCに申し入れを行う。 ②日本赤十字社は、これまで手弁当で邦人職員をICRCに派遣しているところ、今後とも日赤と連携を密にし、派遣を支援していく。					

(注1) アフリカ関連支援1000万ドル(補正予算)及びアフガニスタン支援900万ドル(補正予算)を含む。

(注2) アフリカ関連支援1000万ドル(補正予算)を含む。

(注3) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。